



やっとかめ
文化祭

まどころ・旅どころ・なごや



www.yattokame.jp

2017 やっとかめ文化祭
時をめぐり、文化を旅する、まちの祭典。

YATTOKAME
FESTIVAL

NOH KYOGEN
TRANCE NOH
1/f-no-YURAGI

トランス能 1/fのゆらぎ

～ろうそくで照らす物狂いの世界～

能「富士太鼓」 狂言「梟山伏」

●日時：11/18(土) 14:00 (開場13:30)

●場所：名古屋能楽堂 ●料金：一般 3,000円 / 学生 1,500円 (全自由席)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※一般チケットのみ、事業団友の会会員(前売りのみ)・障がい者手帳等をお持ちの方は1割引。

(購入時に会員証、障がい者手帳等をご提示ください。障がい者の方はご本人と付き添い1人まで割引料金でお求めいただけます)

※割引の併用はできません。

●チケット取扱い 9月6日(水) 発売

●名古屋市文化振興事業団チケットガイド(平日9:00～17:00/郵送可) Tel 052-249-9387

※名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口(土日祝日営業)でもお求めいただけます。 オンラインチケット購入 [事業団チケット](#) [検索](#)

●チケットぴあ Tel 0570-02-9999 Pコード 480-530



○地下鉄鶴舞線「浅間町」駅下車、1番出口
より東へ徒歩10分

○地下鉄名城線「市役所」駅下車、7番出口
より西へ徒歩12分

主催：やっとかめ文化祭実行委員会(構成団体：名古屋市(文化振興室、観光推進室、歴史まちづくり推進室、文化財保護室)、(公財)名古屋市文化振興事業団、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー、中日新聞社、名古屋観光ブランド協会、特定非営利活動法人大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク) 後援：名古屋商工会議所、中部経済連合会、中部経済同友会 助成：文化庁、一般財団法人地域創造 協力：名古屋三曲連盟、名古屋邦楽協会、(公社)能楽協会 名古屋支部、名古屋鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、名古屋市交通局、名古屋厚生会、日本郵便株式会社、名古屋建設株式会社、あま市観光協会、会場を貸して下さった寺社の皆さま 協賛：一般財団法人民族衣裳文化普及協会、イオンリテール株式会社、トヨタ自動車株式会社、愛知学院大学、名古屋学院大学、愛知大学、株式会社メニコン、株式会社安藤・岡、岡谷銅機株式会社、株式会社竹中工務店、大同特殊鋼株式会社、東急不動産株式会社、株式会社大丸松坂屋百貨店、一般財団法人名古屋能楽協会、日本ガイシ株式会社、鹿島建設株式会社、名古屋空港ビルディング株式会社、公益社団法人日本観光振興協会中部支部、八百屋本店、丸茂電機株式会社、株式会社TYK、三精テクノロジーズ株式会社、株式会社エアーランド、株式会社青柳総本家、株式会社安藤七宝店、味の司 石昆、株式会社大須いり、きよめ餅総本家、株式会社くすむら、呉竹商事株式会社、雀おどり總本店、株式会社ダイナゴン、株式会社なごやきしめん亭、名古屋だるま・千両、納屋橋渡頭万松庵、宮さしめんの宮商事株式会社、妙香園、メゾン・ド・ジャン・エル、餅文総本店、名古屋名物 みそかつ 矢場とん、株式会社大和屋守口演劇本家、山本屋総本家、吉田屋株式会社、株式会社南口屋屋清 ディレクター：近藤マリコ、高橋佳介、西川千雅

beyond
2020

文化庁
平成29年度
文化庁文化芸術創造活用
プラットフォーム形成事業

Nagoya.
UNESCO
City of Design

トランス能 1/fのゆらぎ

～ろうそくで照らす物狂いの世界～

ろうそくの炎のゆらぎは、小川のせせらぎの音や蛍の瞬きなどとともに“1/fのゆらぎ”であり、癒しの効果があるとも言われています。今回の「トランス能 1/fのゆらぎ」では、ろうそくの炎のゆらぎが生み出す光と影のなか、幽霊や物の怪といった人智を超えた存在が能舞台に現れます。幽霊や物の怪が人に憑依するいわゆる“トランス状態”を描いた作品を、幻想的な空間でご堪能ください。

能「富士太鼓」 シテ：久田三津子(観世流)

シテ(富士の妻) / 久田三津子
子方(富士の娘) / 武田章志
ワキ(萩原院の臣下) / 高安勝久
アイ(臣下の従者) / 井上松次郎

大鼓 / 河村総一郎
小鼓 / 上田敦史
笛 / 鹿取希世

地謡 / 伊藤裕貴 加賀敏彦
吉沢旭 久保信一朗
八神孝充 清沢一政
本田勲 松山幸親

後見 / 今澤美和 祖父江修一

働き / 瀬戸洋子 星野路子

イヤホンガイド

日本語 / 三苫佳子(愛知産業大学短期大学非常勤講師)
英語 / 奥田小夜子(能楽イヤホンガイド名古屋)

※演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸します。(日本語/英語)
Noh performance Guide
Rent-free for a wireless headset. (Japanese/English)

時は鎌倉、萩原院(花園天皇)の御代。浅間^{あさま}という天王寺の太鼓の楽人が宮中の管弦の催しに召されました。しかし、富士という住吉大社の楽人も自らその役を望み、妻が止めるのも聞かずに上洛します。「信濃なる浅間の嶽の燃ゆといへば富士の煙のかひやかならん」という古歌が引かれ、勅命により太鼓の役は浅間に決まりました。ところが浅間は、富士を憎んで殺害してしまったのです。

胸騒ぎを覚えて娘と共に都に上った富士の妻は、富士は浅間に討たれたと告げられ、形見の衣裳を渡されます。なんとしても夫を引き止めるべきだったと悔やみ悲しむ妻は、夫の形見を身に着けるとますます心が乱れ、夫が打ちたかった太鼓を見て敵^{かたき}だから討とうと娘を誘います。そこに富士の幽霊が現われて妻に取り憑きます。

浅間が富士を殺したのは、富士の無礼が原因だったのか、あるいは富士の実力を恐れたためなのか。こうした芸人同士の争いで夫を失った妻は、どうすれば無念を晴らすことができるでしょうか。鳥兜^{とりかぶと}をかぶり男の姿となった富士の妻は、夫の死を悲しみ恨む心で「楽」を舞い太鼓を打ちます。太鼓を相手に夫の敵討ちをする妻。その妻に憑いて心ゆくまで太鼓を打つであろう富士。ろうそくの炎のゆらぎに癒やされながら富士と妻の恨みの煙は昇華されていくことでしょう。



狂言「梟山伏」 シテ：佐藤友彦(和泉流)

シテ(山伏) / 佐藤友彦
アド(兄) / 鹿島俊裕
アド(弟) / 今枝郁雄

後見 / 井上松次郎

山から戻った弟の様子が変わり、物の怪が憑いたのでは、と兄は馴染みの山伏に加持祈祷を頼みます。山伏が邪気を払うために祈ると、弟は両手で羽ばたいて奇声を発します。梟^{ふくろう}が憑いたに違いない、と山伏は鳥^{からす}の印を結んで懸命に祈るのですが…。

山伏といえば、仏道修業によって優れた法力を身につけたはずの貴いお方。彼は「九識の窓の前、十乗の床のほとり、瑜伽の法水をたたへ、三密の月を澄ます所に、案内申さんとは…」と、能「葵上」の横川の小型のセリフで物々しく登場します。しかし梟の憑き物はなかなか落ちません。山伏の間の抜けた呪文に対して梟の鳴き声がかえってくるばかり。憑き物という不可思議なできごとがシュールな笑いの世界へと広がります。



名古屋の美味しい純米酒を20名様にプレゼント！

公演にご来場いただいたお客様に抽選で名古屋市内の4つの酒蔵(東春酒造・金虎酒造・神の井酒造・山盛酒造)によるグループ「ナゴヤクラウド」から、それぞれ自慢の純米酒からいずれか1本プレゼントいたします。公演終了後、会場で当選者を発表いたします。

※プレゼントのお渡しの際に年齢確認をさせていただく場合があります。
未成年の方には日本酒をご提供できませんので、別途景品をご進呈します。

ナゴヤクラウドは名古屋市内四酒蔵の若手によるグループです。既存の枠組みにとらわれず「名古屋の日本酒を知ってもらいたい」「日本酒で名古屋を盛り上げたい」として「名古屋と一体となった日本酒文化を発信したい」という共通目標のため、活動しています。



※やむを得ず出演者等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

やととかめ文化祭実行委員会

〒460-0011 名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201
NPO法人ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク内 Tel 052-262-2580 Fax 052-262-6658

イベントの詳細は公式プログラムまたはwebで → <http://www.yattokame.jp/>

やととかめ文化祭 検索

